

Hekikai Report

地域金融機関として
伝えるビジネスの
“今”と“これから”

〈企画・編集〉
碧海信用金庫
経営企画部 企画グループ
<https://www.hekishin.jp/>



● 企業訪問 地域の躍動企業

日本モールド工業株式会社
代表取締役社長 石原 雄大 氏

● 特集 とよたで生まれ、とよたで育った、とよたの郷土食
「とよた五平餅」を食べ尽くそう!

● お役立ちコラム 知っておきたい税情報
消費税のインボイス制度④

● Pickup! チャレンジ企業 株式会社プロダスト

● SDGsレポート vol.16 (2023年10月~12月)

● 地域の景気動向 2023年12月調査

● 特別調査 2024年の経営見通し

● Topics 国内最大のインキュベーション施設
「STATION Ai」

企業訪問

地域の躍動企業

SPECIAL INTERVIEW

サルビア支店お取引先

日本モールド工業株式会社

代表取締役社長 石原 雄大 氏

愛知県安城市に本社を構える日本モールド工業株式会社は、1956年の設立以来、鶏卵用容器をはじめとするパルプモールド製パッケージを日本全国に供給し続けています。パルプモールドとは、原料の古紙を水に溶かしたあと、金型に入れて成形・乾燥して出来上がる緩衝材のこと。2023年10月、国内トップクラスのシェアを誇る同社の社長に就任した石原雄大氏にお話を伺いました。



鶏卵用パッケージからスタートし、農作物、工業製品へと展開

—創業からの歩みと事業内容について教えてください。

1956年、GHQの要望に応えるため鶏卵輸送緩衝材を製造し始めたことが設立のスタートです。その前は木箱にもみ殻を詰めて卵を輸送していたため、より衛生的なパッケージを求められていました。ヨーロッパにすでにあったパルプモールドの技術を日本でいち早く導入し、製造をスタートしました。転機となった出来事は農作物用緩衝材の製造です。「卵ができるなら、果物にも利用できるのでは」と、渥美半島で栽培されているメロン用の緩衝トレーを開発しました。その後、リンゴや梨、トマトなどさまざまな農作物に展開。さらに近年では家電などの緩衝材の製造もおこなっており、当社のパルプモールド製品はさまざまなシーンで利用されています。

農作物は大小の違いはあるものの、例えばりんごは丸と形は決まっています。しかし、家電製品は新モデルが誕生することに形状が変化します。しかも新商品が登場するサイクルは早いので、スピード感も求められ、さらに落下衝撃値や振動値といったデータを提示しなければなりません。そういった要望に対応するために、技術開発や金型の内製化など、コスト削減や効率化に取り組み、成長を続けてきました。

—印象に残っている出来事を教えてください。

まず頭に浮かぶのは、タイ工場の設立です。それまでは国内でのみ製造していましたが、工業製品の製造はアジアが中心。すると、それらのパッケージも現地で調達したいとメーカーは考えます。「需要はある」と狙いを定め、ゼロから工場を設立することを

決意したんです。古紙の調達から人材採用まで現地でおこないましたが、やはり文化が違うと考え方も違うので、苦労の連続でした。おかげさまで今年工場設立10周年を迎え、足元では増収増益という結果を出せています。

もう一つ、2008年のリーマン・ショックやコロナ禍など、世界的に不況となった時期でも当社の事業は影響を受けにくいと気づいたことも印象に残っています。工業製品は景気変動に影響を受けますが、農産畜産物は景気に関係なく世の中に必要なものなので、製品ニーズはほとんど変わらないんです。逆に不況時には電気代や古紙価格が下がるので、コストも下がります。ピンチの中で当社の強みを再確認できました。

さらに、2024年9月から稼働を予定している栃木工場の新設は記憶に新しいところです。1万5000平米の栃木工場では、冷凍食品用のトレイ製造にフォーカスしています。プラスチックが当たり前だった容器を日本製の紙製トレイへシフトさせることにより、循環型社会の実現にもお役に立てると考えています。



▲たまごパックから事業をスタート。業務用、店頭販売用、贈答用などの種類がある



◀あえて撥水加工をせず吸水性を持たせることで、果物の鮮度維持にも役立っている



▲家電や電子部品など、さまざまな工業製品に合わせた形状設計が求められる



▲撥水性や耐熱性を持たせたパルプモールドの食品トレイ。脱プラの時流にマッチする

古紙から生まれるパルプ
「循環型社会の実現」の一

モールドが
助に

冷凍食品用トレイを日本製パルプモールドへ。限りある資源の有効活用につながる

一栃木工場で製造予定の冷凍食品用トレイについて教えてください。

卵や果物なら殻や皮があるのですが、冷凍食品となると口に直接入るものなので、安全性が重視されます。レンジで加熱すると、通常の紙であれば油が染みこんでしまうため、耐水性や耐油性も必要です。さらに、品質管理も難しくなってきます。万が一でもトレイに不良を出したら、冷凍食品は全て回収になってしまうからです。ところが、古紙は原料が一定ではありません。ダンボールやコピー用紙など、回収されたものによって原料の成分が変わりますが、出来上がる製品の品質は一定にしなければならない。非常に技術が求められる部分であり、工夫と改善を繰り返して品質維持に努める必要があります。

私たちはパッケージを作っていますが、一方で、家庭から排出されるごみの半分程度が「パッケージ」です。現在、世界中で循環型社会の実現に向けた取り組みが行われていますが、これらパッケージが環境負荷の低いものに変われれば、世の中が一変すると確信しています。現在、日本で出回っている冷凍食品トレイは中国製ばかりで、日本製は当社製品が初。チャレンジングではありますが、限りある資源を有効活用し、持続可能な社会の実現の一助になればと考えています。



▲1万5000平米の敷地に建つ栃木工場

一2023年10月に社長就任となった時のお気持ちを教えてください。

私は2005年に入社して以来、物流改善や生産効率向上、先述のタイ工場設立などに注力してきました。社長就任が決まった時は、歴史ある会社を引き継ぐことに期待と楽しみ、不安が混ざり合った気持ちでいっぱいでした。企業は社会の公器であり、社是にある「社会に奉仕」という考えは守っていく一方で、単なるメーカーからの脱却を図っていきたくと考えています。ただ製品を作って販売して終わり、ではなく、自社製品を通じて循環型社会を実現する企業とならなければなりません。また、国内外の梱包資材をワンストップで提供できるよう、変わる必要があると感じています。

例えば、当社は約10年前から安城市や組合を通じて地域の古紙回収を実施し、原料としています。その活動の発端は、安城市の家庭から排出されるごみの内容を調査したこと。ごみの約20%が紙であり、その半分はリサイクル可能な資源だったため、安城市から古紙の個別回収を依頼されました。各家庭を回って回収するのは手間がかかりますが、「周りがやっているなら我が家もやらなきゃ」と回収率のアップにつながります。これらの活動が奏功し、ゴミに含まれる紙資源は20%削減することができています。地域においてはゴミが減り、各家庭ではリサイクル意識が高まり、我々は原料を調達できる、「三方よし」の取り組みです。

一パルプモールド製品における国内トップシェアを占めているとのことですが、大きく成長できた要因は何だとお考えですか。

お客様からの要望に素早く対応していることだと考えています。当社は全国50カ所にデポ（倉庫）があり、各地域で必要とされるパルプモールド製品をストックしています。1県1カ所以上のデポ



▲使用したパルプモールドは再度リサイクル可能なため、循環型社会に寄与すると石原社長

があるのは、短納期を要求されることが多いためです。工業製品であれば生産計画があるため、いつどれだけの量が必要だということが事前にわかりますが、農作物となると自然が相手になりますので、そうはいきません。しかし、梱包材がなければ農作物が出荷できず、傷んでしまう。それを回避するため、必要な梱包材をすぐにお届けできる体制を構築しています。

とはいえ、私はまだ大きく成長できたとは考えていません。スーパーへ行くと卵のパッケージはプラスチックが中心であり、梱包材のない果物も多く見かけます。しかしパルプモールドは、果物の鮮度維持につながっているのではないかと社内の調査結果もあり、私たちがやれることはまだまだ多いと考えます。コストの問題もあり簡単にはいきませんが、現在問題になっているマイクロプラスチックとも関連するため、現在主流であるプラスチックの梱包材をパルプモールドへ変換していきたいですね。

一今後、取り組んでいきたいことを教えてください。

「パルプモールド2.0」と題し、梱包材以外にも紙の可能性を広げていきたいと考えています。例えば豊田中央研究所と研究を進めているボード材は、パルプモールドの持つ吸音という特性を活用し、軽量・遮音・吸音性能の高い製品となっています。リサイクル材を活用する流れは各メーカーで広がっており、今後ますます必要性が高まっていくと考えています。

現在は、水を使わないトレイの製造も開発中です。これまで製紙では、水を大量に使うことが必要不可欠でした。ただ水を使うとエネルギーも使う羽目になります。さらに乾燥が必要のために時間がかかり、結果としてコストアップにつながってしまいます。これを解決するために、紙を粉状にして高圧でプレスし、製品形状を作るんです。来年の実用化を目指していますが、実現すればトータルエネルギーが5分の1になるという試算もあり、カーボンニュートラルにも貢献できると考えています。

Hekikai Report

■企業プロフィール 日本モールド工業株式会社

古紙をリサイクルしてパルプモールド製品を製造。国内トップクラスのシェアを誇る同社製品は、国内外のネットワークを通じ、鶏卵をはじめ、青果物や工業品などの紙製パッケージとして利用されている。「総親和のもと創意工夫の展開により無限に繁栄し社会に奉仕する。」という社是の下、地球環境と顧客要求に配慮した製品づくりに努めている。



本 社	〒446-0056 愛知県安城市三河安城町2丁目20番地1
T E L	0566-76-3101
F A X	0566-76-1120
代 表 者	石原 雄大
設 立	昭和31年
資 本 金	2億6,000万円
事 業 内 容	鶏卵・青果物・工業品などの紙製輸送容器、緩衝材製造
U R L	https://www.mold.co.jp/

■企業沿革

昭和31年	愛知県安城市新田町弁天前に設立。東京・大阪事業所営業開始
昭和43年	九州営業所開設
昭和44年	仙台営業所、富山営業所（現：長野営業所）開設
昭和49年	大型成形機第1号機設置、札幌出張所開設
昭和50年	大型成形機第2号機設置、青森出張所開設
昭和53年	東端工場新設
平成5年	本社事務所移転
平成18年	藤枝工場新設
平成22年	ISO9001認証取得
平成24年	ISO14001認証取得
平成26年	タイ工場（EMI Thailand）設立
平成29年	機密紙処理専用工場稼働



左からサルビア支店 鈴木営業担当、サルビア支店・新安城支店 三矢支店長、日本モールド工業株式会社 石原社長、広報課 星野係長

とよたで生まれ、とよたで育った、とよたの郷土食

「とよた五平餅」を食べ尽くそう!

代々受け継がれてきた奥三河地方の郷土食「五平餅」。豊田市では50店以上が五平餅を名物として販売しており、2010年には豊田ブランドとして特産化するための組織“とよた五平餅学会”が発足しました。

2018年度には愛知県が実施する「食と花の街道認定事業」で、“とよた五平餅街道”が認定されました。また、2022年度には、文化庁が実施する食文化機運醸成事業「100年フード」に“五平餅”が認定されるなど、五平餅が幅広く認知されるようになっていきます。

五平餅は地域や店によって味やかたち、大きさもいろいろ。地域において世代を超えて受け継がれ、地域の風土や歴史・風習の中で育まれてきた「とよた五平餅」を食べ尽くしてみませんか。



とよた五平餅学会仕様 五平餅の特徴

豊田産の食材や食具を使用し、とにかく地元産にこだわって作られています。

「ほせ」とは、西三河地方や愛知の方で、串や細くて短い棒のことを言うんだよ!

こだわり1 お米



豊田産で栽培された「ミネアサヒ」「ミネヒビキ」など、地元のお米を使った美味しいごはんが特徴なんだよ!

こだわり2 たれ



愛知県産大豆「フクユタカ」を原料とした豊田市で作られた「味噌たれ」を使っているんだよ!

こだわり3 ほせ



豊田市で育った木の間伐材を使い、食具でも地産地消を意識しているんだよ!



“とよた五平餅”について

私は常々「食は文化である」とお話ししており、学会発足に際して「五平餅を豊田市の“ソウルフード”にしたい」という目標を掲げました。豊田市は2005年に山間部の足助や小原などの町村と合併しましたが、文化的な一体感がないことが課題でした。そこで五平餅という素晴らしい食文化を横串にして、郷土愛を育み、広大な豊田市をひとつにしたいと考え、「五平餅マイスター」など、さまざまな取り組みを行っています。

私の将来の夢は、五平餅が中部地区から日本全国へ、さらには世界に広がり、ニューヨークで五平餅のイベントを開催することです。

とよた五平餅学会 会長 のだみそ株式会社 代表取締役社長 野田 清衛 氏

とよた五平餅は、かたち、大きさもいろいろ。

皆さんがご存じの「わらじ型」をはじめ、さまざまなかたちや大きさがあります。写真のほかに「丸型」や「ひょうたん型」の五平餅もあります。また、とよた五平餅学会では、クルマの街らしくイベントで販売する「クルマ型」の五平餅もありますよ。

長さ21cmで日本最大級の大きさだよ! 丼ぶり約1杯分のごはんがこれひとつ!



とよた五平餅の歴史 五平餅は、豊田市が発祥の地!?

五平餅の起源には、山の神を祀る「山の講」のお供え起源説、山仕事・林業従事者のお弁当起源説、「五平さん」考案説、その他地域独自の伝承説と、さまざまな説があります。それらのいずれが正しいのか? 明確にはできませんが、これらの説はどれも、五平餅の背景に、その土地の「山」にかかわる生活文化があることを物語っています。

地元では当たり前のようにある食べ物なので五平餅は全国的に分布していると思われがちですが、実は五平餅の分布域は、愛知・岐阜・長野の各県にまたがる一部の地域に限定されます。この分布域から五平餅の発祥の地を考えた場合、五平餅という「山里の食文化」が伝わっていく過程において、古くから三河と南信州を結ぶ物資輸送の幹線路の旧伊那街道(別名「中馬街道」「塩の道」)が重要な役割を果たしていると、とよた五平餅学会では考えています。そして、五平餅の分布とこの街道との関わりから、豊田市域は五平餅発祥の地として非常に有力な位置にあるといえます。

とよた五平餅学会学芸員 天野 博之 氏 (豊田市観光協会発行リーフレット「とよた五平餅」より)

五平餅の価値や文化を伝承する「五平餅マイスター」

とよた五平餅学会では、2013年に豊田市内に在住・在勤・在学の人に向けて、認定資格「五平餅マイスター」を作りました。

講習では、座学で五平餅の文化や歴史を学び、昔ながらの五平餅作りを習得。知識と実技による試験をクリアすると「五平餅マイスター」に認定されます。

これまでに150人以上がマイスターに認定され、その中には五平餅を提供するカフェなどを開業した人もいます。



【編集・協力】

とよた五平餅学会

愛知県豊田市榑塚西町南山6番地(のだみそ株式会社内)
TEL.0565-21-0028

とよた五平餅学会のホームページはこちら



五平餅を作ってみませんか!

とよた名物の五平餅をご家庭で作ってみませんか。みんなで楽しみながら作る、できたての五平餅の味は格別です。パーベキューのしめにもどうぞ。

<材 料>

- 味噌たれ(豆味噌・砂糖など)
- 米2合(1本150gの五平餅4本分)
※お好みで、山椒、刻んだくみやピーナッツなど。

<道 具>

- ほせ4本(割り箸なら6膳)
- すり鉢 (なければ、お釜のままでOK)
- すりこぎ ●炭 ●針金 ●家庭用パーベキューコンロ

<作り方>

- ① 家庭用パーベキューコンロに炭火を熾し、五平餅を立てかけるための針金を左右に渡しておく。
- ② 普通またはややかために炊き上げたご飯を、約10分蒸らした後、すり鉢へ移し、すりこぎで練り、7ふほど(すりこぎを引き上げると、すり鉢がくっついてくる状態)つぶす。
※ムラなくきっちり練るのがポイント!
- ③ 手水をつけて、おにぎり(各150g)を4個作る。
※割り箸で作るなら、各100g。
- ④ おにぎりにほせ(または割り箸)を埋め込みながら、ご飯をほせに付けていく。
※特に、両端はしっかりと付ける。
- ⑤ ④を立てて、左右から手のひらで押して、わらじ型に成形する。
- ⑥ パーベキューコンロで⑤をじっくりあぶり、キツネ色に焼けてきたら、味噌たれを両面に手早く、ムラなく塗る。
- ⑦ 味噌たれを塗った五平餅を再びコンロであぶって、味噌たれがブクブクと焼けてきたら出来上がり。
※魚焼きグリルでも焼くことができます。その際は、ほせが焦げないように、アルミホイルを巻いてください。

五平餅には欠かせない豊田市の味噌をご紹介します

代表が「とよた五平餅学会」の会長を務められ、五平餅には欠かせない味噌を豊田市で製造されている榊塚味噌(のだみそ株式会社)様をご紹介します。

榊塚味噌(のだみそ株式会社)

創業96年を迎える味噌蔵元です。木桶仕込みによる天然醸造の製造方法にこだわり、現在も約400本の木桶を所有し、昔ながらのみそ作りを守り続けています。併設の直売店では味噌を量り売りで購入することができます。



天然醸造にこだわっています

天然醸造とは、味噌が熟成の段階に入った時に、四季の移り変わりを経て、ゆっくりと熟成してゆく方法です。その反対として、人工的に温度を調節して(熱を加え)麹の働きを活発にし、短期間で味噌を作り上げる速醸法があります。

天然醸造の味噌は、速醸法の味噌とはコク、香り、旨みなどにおいて味に大きな違いがあります。味噌本来の味とは決して作る味でなく、育て上げる味。榊塚味噌は天然醸造を守り続けています。



国産と北米産の大豆のみを使用

責任とこだわりにおいて原料を厳選し、国産大豆と北米産大豆を使用しています。



味噌蔵見学ツアー・みその学校を開催

榊塚味噌では、第二次大戦中、海軍の岡崎飛行場の格納庫であった建物や、移築した大正時代の小学校の校舎を改装した味噌蔵が今も現役です。その中には昔ながらの杉、桧の木桶が約400本あり、それぞれの木桶の中で味噌は育てられています。見学ツアーでは、じっくり時間を



かけて、榊塚味噌のこだわりを見学することができます。

また、「みその学校」では手作りみそ教室を開催しています。

<味噌蔵見学ツアー>

- 見学料:無料
- 所要時間:約1時間30分
- 予約:要(TEL.0565-21-0028)
- 受付:10名以上の団体(上限45名)
- 対象:小学生以上



みその学校



榊塚味噌(のだみそ株式会社)

愛知県豊田市榊塚西町南山6番地
TEL.0565-21-0028

榊塚味噌(のだみそ株式会社)の
ホームページはこちら

とよた五平餅が食べられるお店紹介

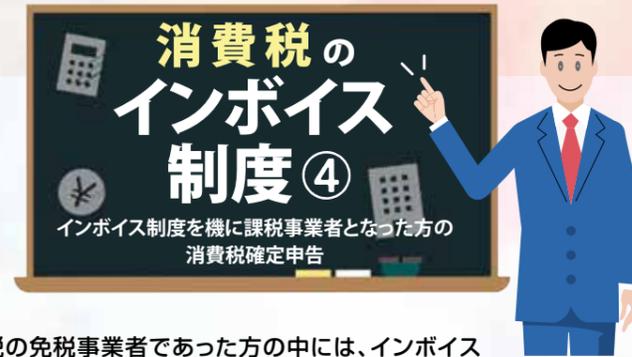
地域	施設名	特徴(味・かたち)
豊田エリア	一福	ごまくるみ味噌だれ 小判型
	川の駅 松平	ごまくるみ味噌だれ わらじ型
	食楽工房やそう	味噌だれ 小判型
	椿(玉滝溪谷バーベキュー場内)	味噌だれ 御幣型
	滝川ふれあい工房	味噌だれ わらじ型
小原エリア	大福魚苑	味噌だれ わらじ型
	樟茶屋	味噌だれ・醤油たれ ひょうたん型
	紙の花	味噌だれ わらじ型
	うめや	味噌だれ だんご型・ハート型
旭エリア	花水木22	味噌だれ わらじ型
	旭高原元気村 げんき館	味噌だれ わらじ型
稲武エリア	どんぐり横丁	味噌だれ・醤油たれ わらじ型
	中乃屋	味噌だれ・醤油たれ わらじ型
	大野瀬加工組合	味噌だれ・醤油たれ わらじ型
	マルエイ	味噌だれ わらじ型
足助エリア	もみじ堂	ごまくるみ味噌だれ 小判型・団子型
	めたざわ屋	味噌だれ 御幣型
	足助牛乳	味噌だれ わらじ型
	桧茶屋(三州足助屋敷)	味噌だれ わらじ型
	きくや	味噌だれ・醤油たれ 御幣型
	日の出屋	味噌だれ・醤油たれ わらじ型
	花もみじ	味噌だれ きりたんぼ型・わらじ型 等
	みちくさ	醤油たれ 御幣型
	井の上	味噌だれ 丸型
	びっくりや	味噌だれ・醤油たれ わらじ型
	八千代	醤油たれ 御幣型 (紅葉時期は味噌だれ・醤油たれ わらじ型)
	神越溪谷ます釣り場	味噌だれ わらじ型
	伊勢神ドライブイン	味噌だれ わらじ型
下山エリア	妙楽寺休み茶屋	味噌だれ 大わらじ型
	壱利岐	味噌だれ 大わらじ型
	下山の里	味噌だれ 大わらじ型
	狐塚	味噌だれ 大わらじ型
	三河路	味噌だれ 大わらじ型
	腰掛山荘	味噌だれ 大わらじ型
	吉野家商店	味噌だれ 木の葉型
	三河高原キャンプ村	味噌だれ 大わらじ型
	かえで	味噌だれ 大わらじ型

※掲載の情報は「とよた五平餅学会」より提供いただきました(2023年12月時点)。

※掲載内容につきましては変更となっている場合があります。最新情報は、各施設のホームページ等でご確認いただくか、各施設にお問い合わせください。

お役立ちコラム

知っておきたい税情報



今年も所得税、消費税等の確定申告が始まります。これまで消費税の免税事業者であった方の中には、インボイス制度を機にインボイス発行事業者の登録をし、消費税の課税事業者になった方も少なくないと思いますが、どのように消費税の申告をすればよいか、また、消費税はどのくらい払う必要があるか等、色々とお心配のことと思います。

今回は、インボイス制度を機に課税事業者となった個人事業者の消費税確定申告について解説します。

山本康裕税理士事務所 税理士 山本康裕

1 消費税の確定申告

これまで基準期間(前々年)の課税売上高が1,000万円以下の個人事業者は、消費税の納税義務が免除されてきました。しかし、インボイス制度が開始した令和5年10月1日から同年12月31日までの間において、インボイス発行事業者の登録を受けた事業者は、登録日以降、消費税の課税事業者となるため、たとえ、基準期間の課税売上高が1,000万円以下であっても、令和5年分(登録日以後の課税期間)の消費税の確定申告が必要となります。



2 消費税の計算方法(2割特例の新設)

消費税の計算方法には、通常、売上げに係る消費税額から仕入れに係る消費税額を差し引いて納税額を計算する本則課税方式と、売上げに係る消費税額に事業者の事業区分による一定のみなし仕入率(40%~90%)を乗じて仕入税額控除を算出し、納税額を計算する簡易課税方式※があります。

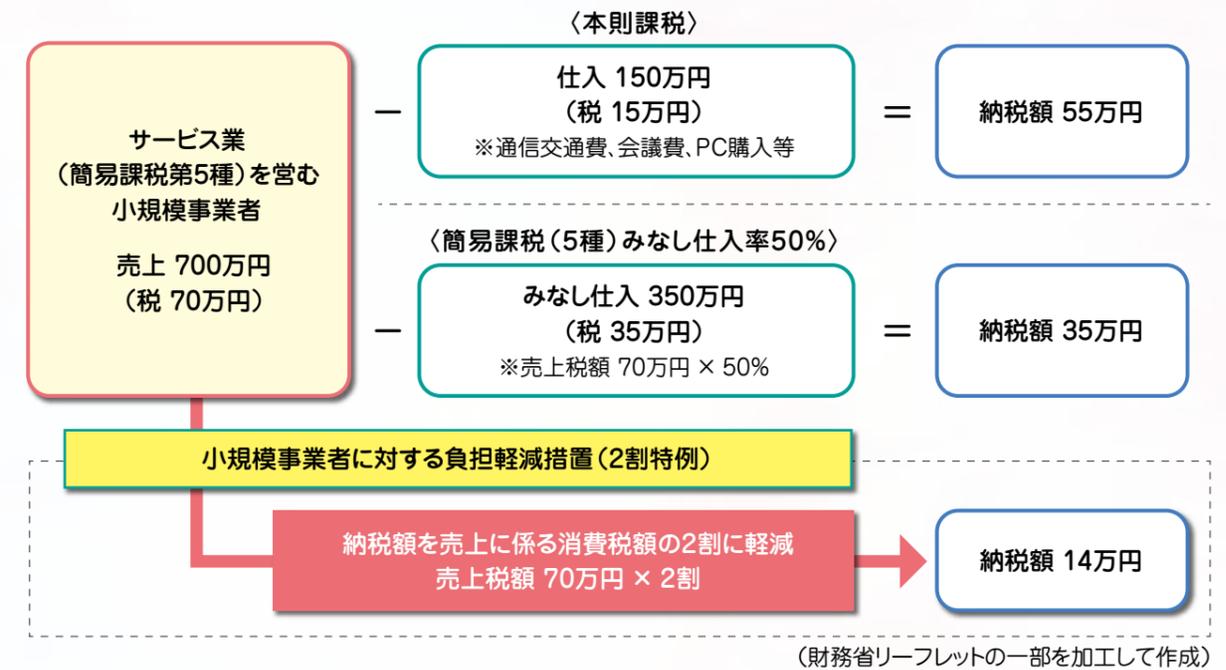
(※簡易課税方式を適用する場合は、事前に簡易課税選択届出書の提出が必要です。また、選択した場合は2年間の継続適用が必要のため、その期間は本則課税は適用できません。)

上記の方法とは別に、3年間の時限措置ですが、インボイス制度を機にインボイス発行事業者として課税事業者になった方については、税負担や事務負担の軽減を図る観点から、消費税の納税額を売上げに係る消費税額の2割とすることができるいわゆる「2割特例」制度が新設されました。

「2割特例」は、事業者の事業区分や実際の経費等の多寡に関係なく、一律に売上げに係る消費税額の8割を仕入税額控除とし、結果として売上げに係る消費税額の2割を納税額とするものです。

例えば、サービス業を営む個人事業者の課税売上高が700万円(税抜)で、実際の経費等の課税仕入高が150万円であった場合、本則課税、簡易課税、2割特例それぞれの方式における納税額は次ページのとおりとなります。

【課税売上高700万円、本則課税における課税仕入高が150万円であった場合のイメージ】



※本則課税は経費の多寡により納税額が変動します。また、簡易課税は事業区分によりのみなし仕入率が異なります。

3 2割特例の適用対象者

「2割特例」は、インボイス発行事業者の登録をしなければ、免税事業者のままであった方が適用でき、インボイス制度開始前から既に課税事業者である方や、基準期間の課税売上高が1,000万円を超えている場合など、インボイス発行事業者の登録以外の事由により課税事業者となる方は適用できません。

4 2割特例の適用できる期間及び手続き

「2割特例」は、令和5年10月1日から令和8年9月30日までの日の属する各課税期間において適用できます。したがって、令和5年10月1日にインボイス発行事業者の登録をした場合、令和5年分(10月から12月分)の申告から令和8年分の申告までの計4回の申告に適用できることになります。

「2割特例」を適用するための事前の手続きは必要なく、消費税確定申告書第一表の「税額控除に係る経過措置(2割特例)」欄に○印を入れるだけで適用できます。また、本則課税と異なり簡易課税選択届出書を提出している場合であっても適用できます。



5 2割特例のメリット・デメリット

「2割特例」は、売上げに係る消費税額の8割を一律に仕入税額控除とするものであるため、簡易課税方式を適用した場合の第3種事業(製造業等:のみなし仕入率70%)から第6種事業(不動産業:のみなし仕入率40%)よりも税負担は軽減されます。また、同様の理由で棚卸資産などの課税仕入れが少ないデザイナー等のサービス事業の場合、「2割特例」は本則課税よりも圧倒的に有利になると考えられます。

その一方で、第1種事業(卸売業:のみなし仕入率90%)の場合は、簡易課税方式よりも税負担が重くなりますし、設備投資をして仕入税額控除が多額になった場合など、本則課税において認められる消費税の還付申告はできません。しかしながら、その場合は、確定申告時に「2割特例」ではなく本則課税(簡易課税選択届出書の提出がある場合は本則課税は適用できません。)を選択することができますので、インボイス制度を機に課税事業者となった事業者におかれましては、このような制度のポイントを頭に入れて消費税の確定申告に臨んでいただきたいと思います。

株式会社プロダスト

(鳴海支店お取引先)

新しいことに挑戦する企業を紹介 Pickup! チャレンジ企業

働く環境の改善を自社でも。「週休3日制度」の導入へ

会社概要

当社は、フロアマットやモップなどの清掃用具のレンタル事業をはじめ、飲食店のグリストラップ*清掃サービスや、害虫防除など、お客さまが毎日働く環境をクリーンに保つためのお手伝いを幅広く手掛けている。また、水道から直接水を注入できる「浄水型ウォーターサーバー」のレンタルも行っており、それぞれの業種に合ったサービスでサポートしている。

レンタル商品の交換やメンテナンスなどのきめ細やかなアフターケアによってお客さまとの信頼関係を築き、今年で創業26年目を迎える。

*グリストラップとは・・・飲食店等の業務用の厨房に設置が義務付けられている、排水の生ごみや油を防ぎ、分離収集する装置のこと。



代表取締役社長 松尾 雄哉 氏

チャレンジの経緯

「お客さまの働く環境の改善をお手伝いする会社なら、自社の働く環境が一番でなければならない」そう考えた社長は、SDGs宣言や、女性活躍推進の「えるぼし認定」、「健康経営優良法人」の認定取得など、ひとつずつ実現してきた。その中で、最大のミッションとして掲げたのが「週休3日制度」を導入すること。「地域で一番働きやすい会社」となるには、ワークライフバランスを重視する今の価値観に合わせた制度を、他社に先駆けて導入することが重要だと感じた。

毎年度初めに行っている経営報告会にて社員全員に周知し、まずはNEEDS事業部において隔週で休みを増やすことから始めた。2年程かけてNEEDS事業部を完全週休3日とすることに成功し、名古屋の中小企業でいち早く週休3日を実現した会社となった。



社員からの要望や提案も積極的に受け入れている。

週休3日制度を導入した効果

「週休3日制度」の導入によって、人材の確保と定着につながっている。NEEDS事業部の業務はグリストラップ清掃が主であり、「きつい・汚い・臭い」の肉体労働であるにもかかわらず、制度導入後は求人で困ったことがない。社員から週休3日に魅力を感じた友人を紹介されるなど、口コミだけで求人できている状況だ。また、どうしたら休みを増やせるか、社員全員が真剣に考えるようになり、業務の無駄を省くことにつながっている。

こうした効果は、長期的な視点で会社にとってメリットになる。社員はプライベートを充実でき、業務中の活力向上や生産性向上も期待できる。現在、その他の部署においても隔週で休みを増やしており、週休3日制度の拡大を検討している。



ワークライフバランスの実現によって従業員満足度が高まり、活気のある職場環境となっている。



ホームページはこちら



LINE

株式会社プロダスト

事業内容：ダストコントロール商品のレンタル及び販売、店舗の清掃に関する事業等

従業員：37名

住所：名古屋市緑区桶狭間切戸2301番地

TEL：052-626-0471

URL：https://pro-dust.com/

支店担当者より

いつもお邪魔しても、社員の皆さんがいきいきと働いている姿を目にします。会社全体が明るく前向きに業務に取り組んでいるからこそ、多くの取引先から信頼され、会社の安定経営に繋がっているのだと感じます。



安城市立錦町小学校にてSDGsに関する授業を実施

10月2日に安城市立錦町小学校へ当金庫職員が講師として出向き、企業がSDGsに取り組む意義についてお話をしました。メモを取ったり、クイズに元気よく回答するなど授業に積極的に参加していただきました。



環境省が実施する「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」の愛知県事業に参画

当金庫は愛知県や名古屋商工会議所等と共同し、環境省が今年度から開始した「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」に参画しました。今後も持続可能な地域社会の実現に向け、お客さまの脱炭素経営を支援してまいります。



「安城まちゼミ」にて金融教室を開催

街のお店の人が講師となって、専門店ならではの知識や情報、コツを教える「安城まちゼミ」に参加し、10月14日に金融教室を開催しました。バーチャル空間での体験を通して楽しく金融知識を学んでいただきました。



製造業向け「新規事業創出セミナー」を開催

デジタル化の急速な発展、SDGsなどの社会的要請の拡大などあらゆる産業に変化が生じ始めているなか、10月26日に新規事業創出を目指す製造業のお客さま向けのセミナーを開催いたしました。今後もお客さまの課題解決支援に力を入れてまいります。



SDGs寄贈型私募債「パートナーブリッジ」の寄贈品を贈呈

私募債を発行するお客さまから受け取る手数料の一部で寄贈品を購入し、お客さまが指定された教育機関や医療機関、公共的な活動を行う法人や団体等に寄贈を行っています。

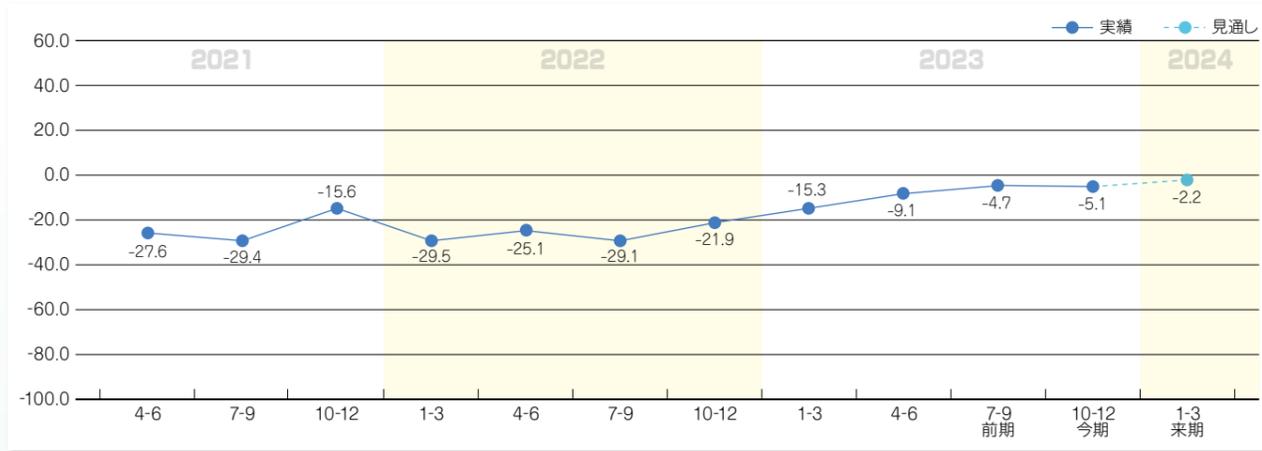


全業種

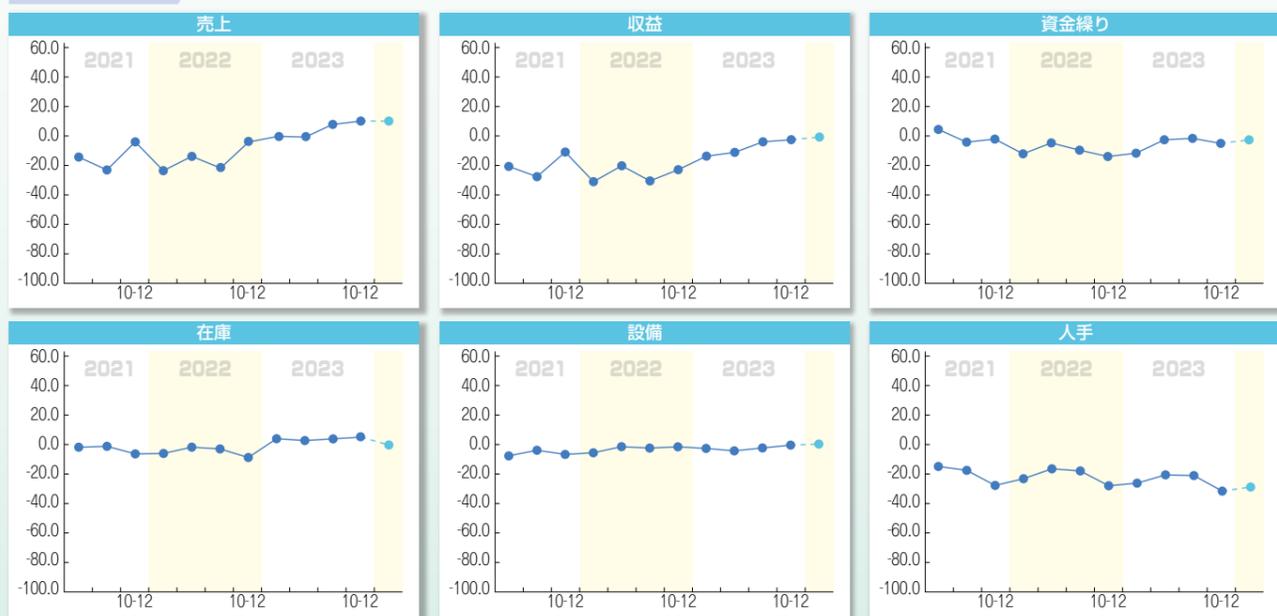
回答数312社

今期の業況D-Iは、前期比0.4ポイント低下の▲5.1。卸売業、サービス業は改善の一方で、製造業、小売業、建設・不動産は悪化。卸売業をのぞくすべての業種で人手不足が深刻化している。来期の予想業況D-Iは、2.9ポイント上昇の▲2.2。製造業、建設・不動産は改善を見込むが、卸売業、小売業、サービス業は悪化の見通し。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D-Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

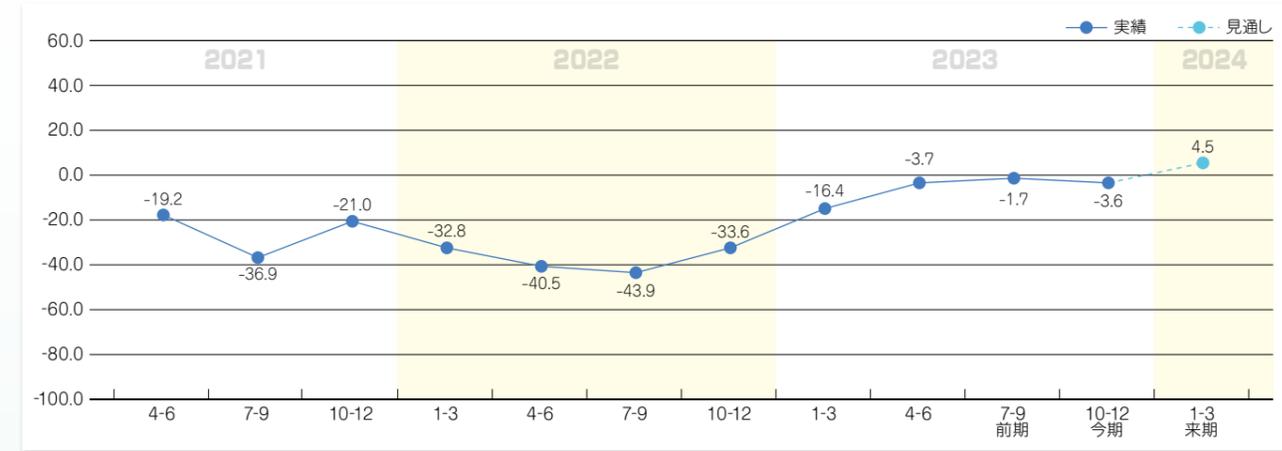


製造業

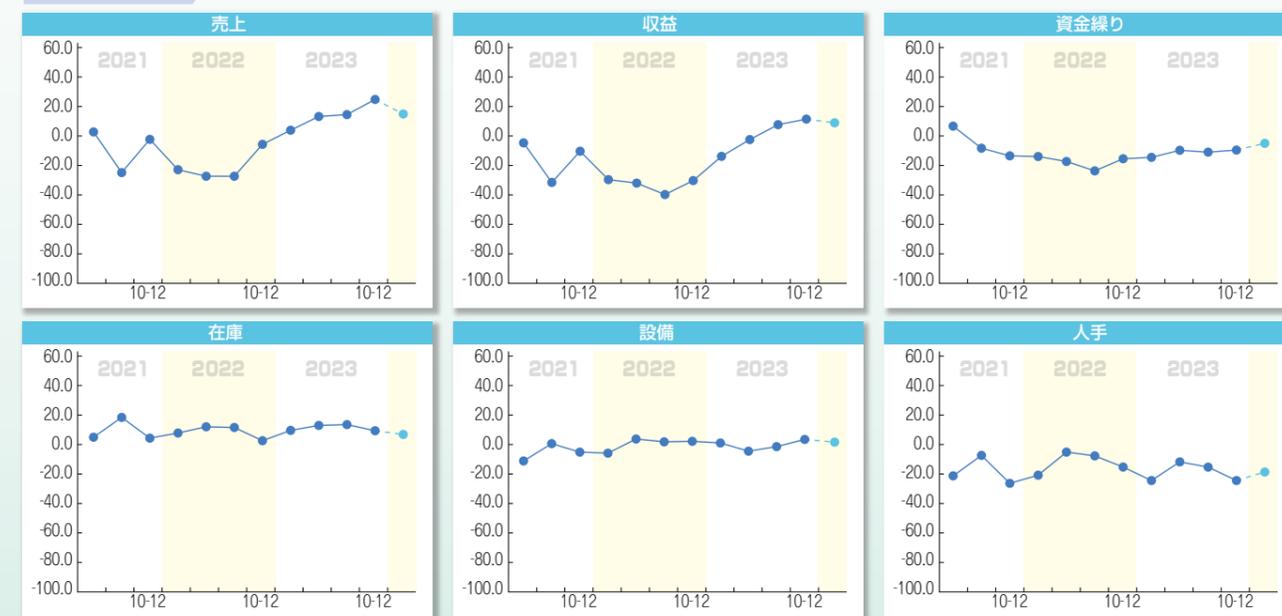
回答数110社

今期の業況D-Iは、前期比1.9ポイント低下の▲3.6。売上、収益は増加基調が続くなか、人手不足を課題とする企業が多い。来期の予想業況D-Iは8.1ポイント上昇の4.5と、改善の見通し。仕入コストや製造コストなどの増加が見込まれるが、受注は堅調であり生産体制の効率化や販売価格の見直しなどにより利益率の改善を図るとする声が多い。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D-Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



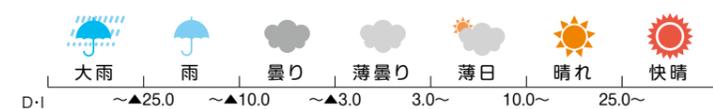
へきしん取引先景況調査とは

本調査は、地域および業種の景気実態および景気予測(景況)を把握するため、四半期ごとに当金庫の取引先企業様にアンケート調査を実施し、回答をいただいたものです。

調査概要

実施時期 2023年12月1日～7日
対象企業 312社
対象地域 西三河および尾張南部を中心とした当金庫の営業エリア

天気図の見方



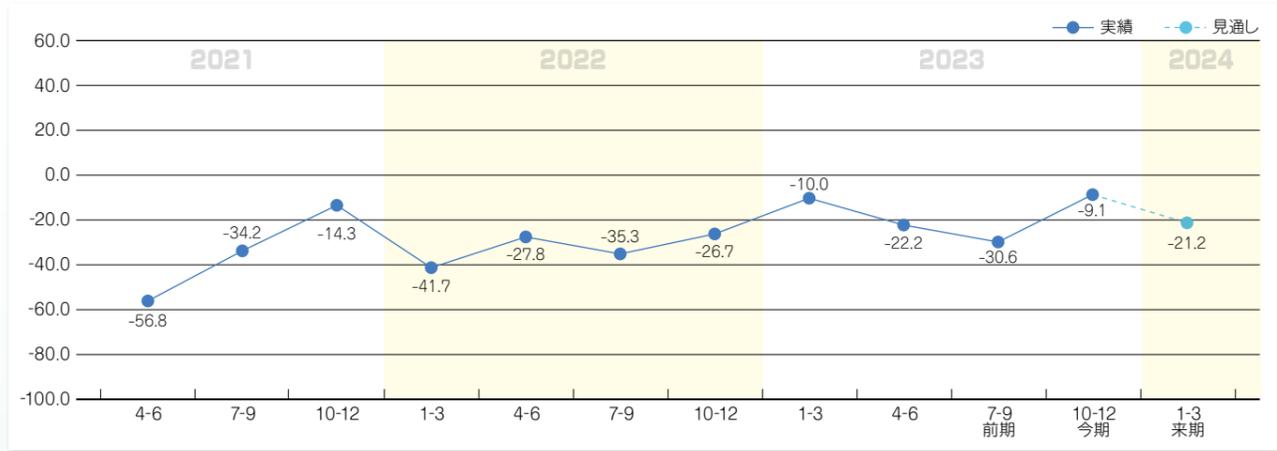
- 生産管理の厳格化により、ロス削減に取り組んでいる。価格交渉により、利益率良化を図る。(自動車部品製造)
- 受注状況は変わらないが、各種コスト高による影響は避けられない。(家具製造)
- 新規設備導入により、受注量が増加し、売上増加傾向。現在は、残業代抑制のため労働環境・体制の見直しや、原材料費の削減などに取り組んでいる。(プラスチック製品製造)
- 仕入コスト、製造コストともに上昇しており、利益率悪化。人材確保にも苦戦しており、業況回復には時間を要する。(繊維工業)

D-I(デフュージョン・インデックス)とは…業況(業界の景気)等を判断するための指数であり、〈良いまたはやや良いと答えた割合〉-〈悪いまたはやや悪いと答えた割合〉で求められます。

卸売業 回答数33社

今期の業況D・Iは、前期比21.5ポイント上昇の▲9.1と、大幅に改善。仕入コストなどの増加分を販売価格に転嫁できている企業が多く、売上とともに収益が改善。来期の予想業況D・Iは12.1ポイント低下の▲21.2と、悪化の見通し。仕入コスト高が長期化するなか、収益への影響を懸念する声が多い。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D・Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

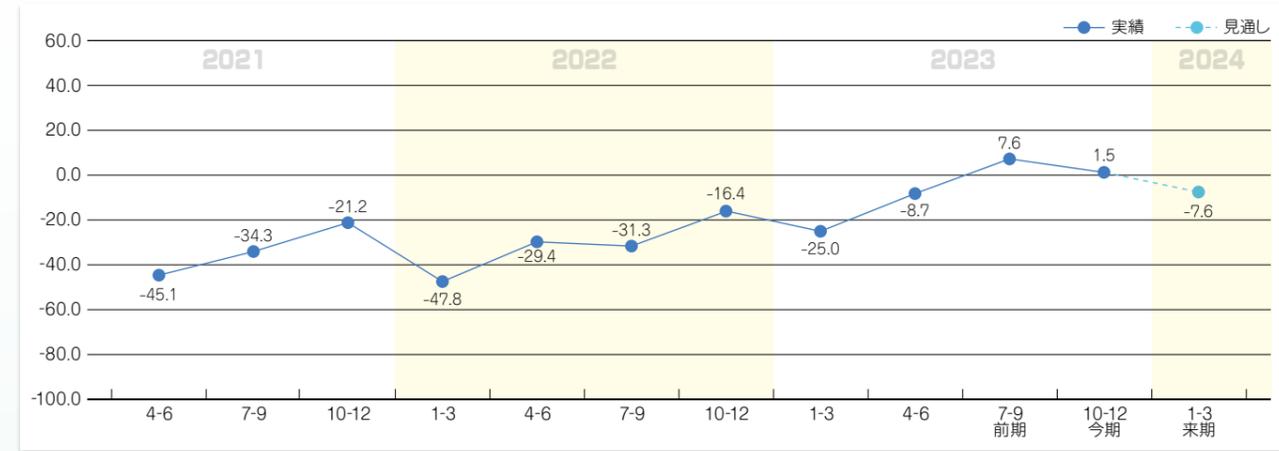


- コロナ禍からの回復も見られ、来年以降は少し明るい見通し。人材も一定数確保できており、不足感はない。(食品卸売)
- 価格転嫁は随時行っており、順調に推移。人件費も適宜見直し、賃上げも行った。DX化やCNの推進が今後の課題。(鋼材卸売)
- 固定客が多く、業況の安定推移が見込まれる。(砕石卸売)
- 円安傾向による石油価格の高止まりにより、需要が抑えられており、市場での価格競争が熾烈化。燃料マージン圧縮により売上総利益は予算比でマイナスとなった。(石油、石油ガス卸売)

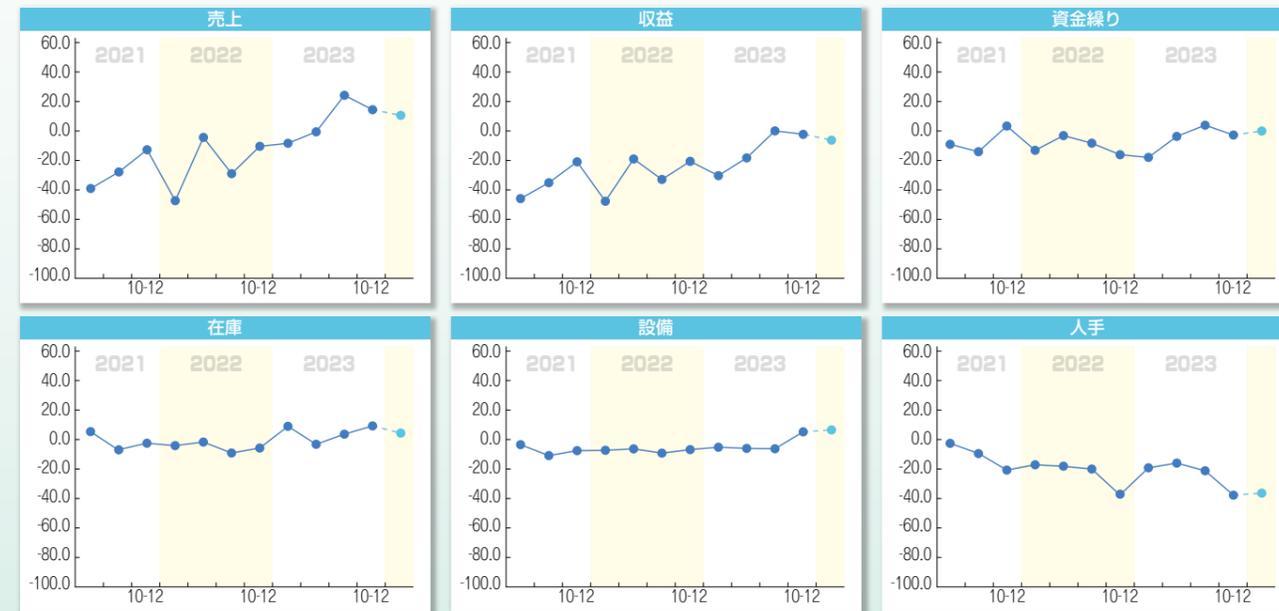
小売業 回答数66社

今期の業況D・Iは、前期比6.1ポイント低下の1.5。コロナ禍からの経済活動の正常化に伴う売上、収益の増加基調が一服。人手不足も深刻化している。来期の予想業況D・Iは9.1ポイント低下の▲7.6。来期も売上、収益の悪化が予想される。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D・Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

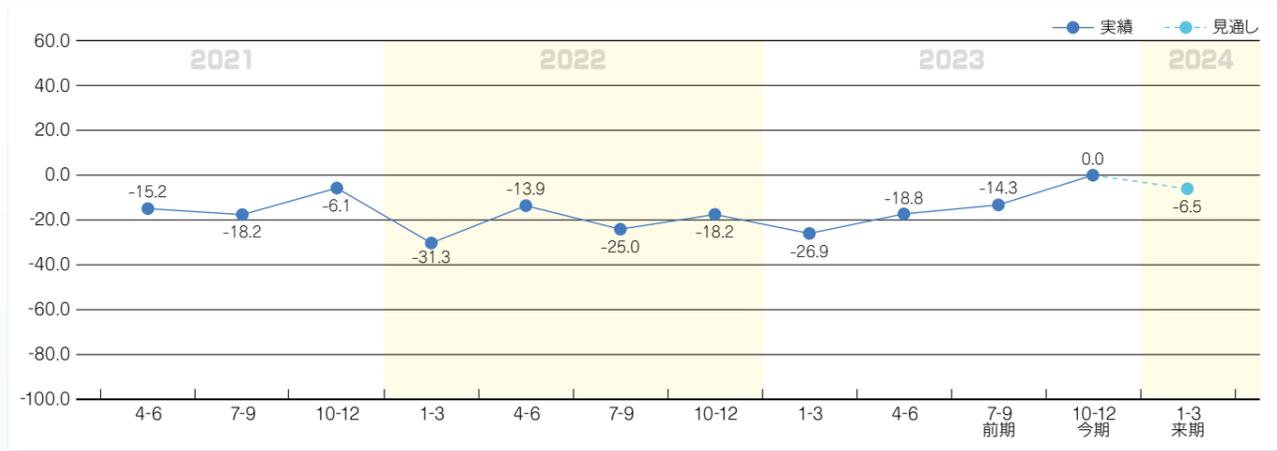


- 来店客数は、コロナ禍からいま一つ回復していない。仕入値の高騰に伴って販売価格の値上げをせざるを得ない状況。(飲食店)
- 仕入価格上昇、売上伸び悩みと非常に厳しい状況であるが、賃金の引き上げを検討している。(ガソリンスタンド)
- 仕入コスト増加などにより利益は減少傾向。海外輸出は円安を背景として順調に推移している。(中古車販売)
- 売上は回復傾向にあるが、人手不足、店舗老朽化など問題もある。(食品販売)

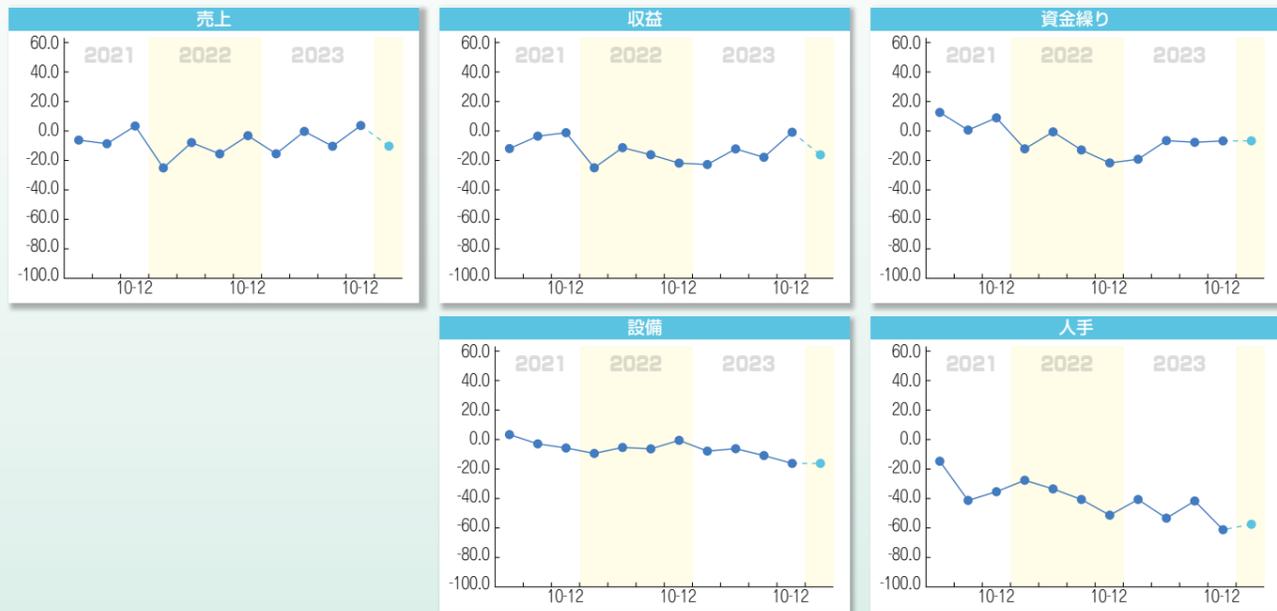
サービス業 回答数31社

今期の業況D-IIは、前期比14.3ポイント上昇の0.0と3期連続で改善。人件費や光熱費などコスト増加に対応した価格転嫁が進み、売上とともに収益が改善した。一方で人手不足感は一層強まり、多くの企業が人材の確保や育成を課題に掲げている。来期の予想業況D-IIは6.5ポイント低下の▲6.5と悪化の見通し。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D-Iの推移 (注)設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

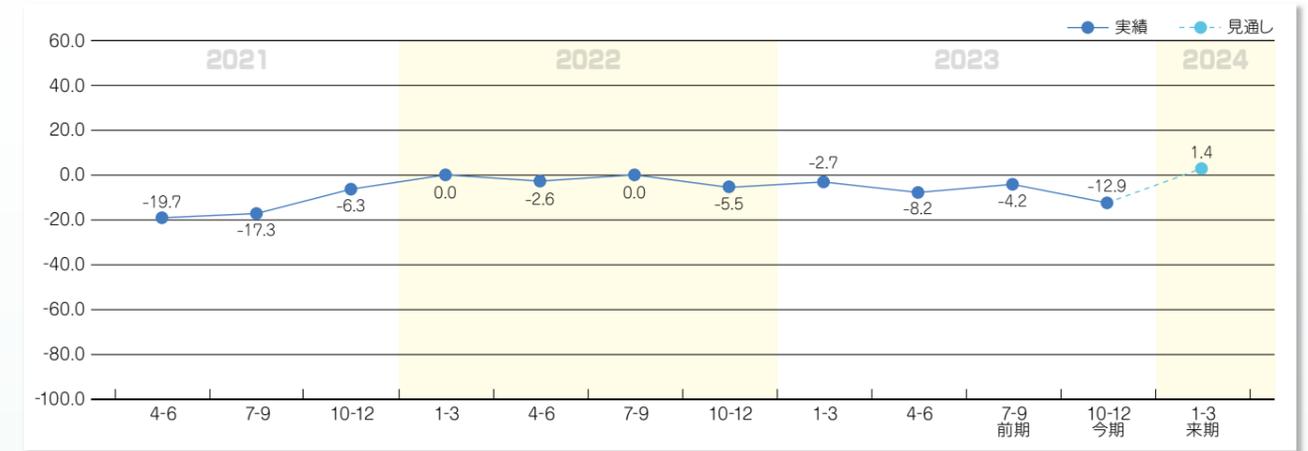


- 賃上げなどに対応するため、料金の値上げを実施した。(税理士法人)
- 受注は堅調に推移しており、業況は安定している。人材確保が課題。(自動車整備業)
- 価格転嫁はほぼ完了している。従業員数がもともと少なく、一日に受け入れられる顧客数が限られている。増員および従業員の育成が急務。(理美容業)

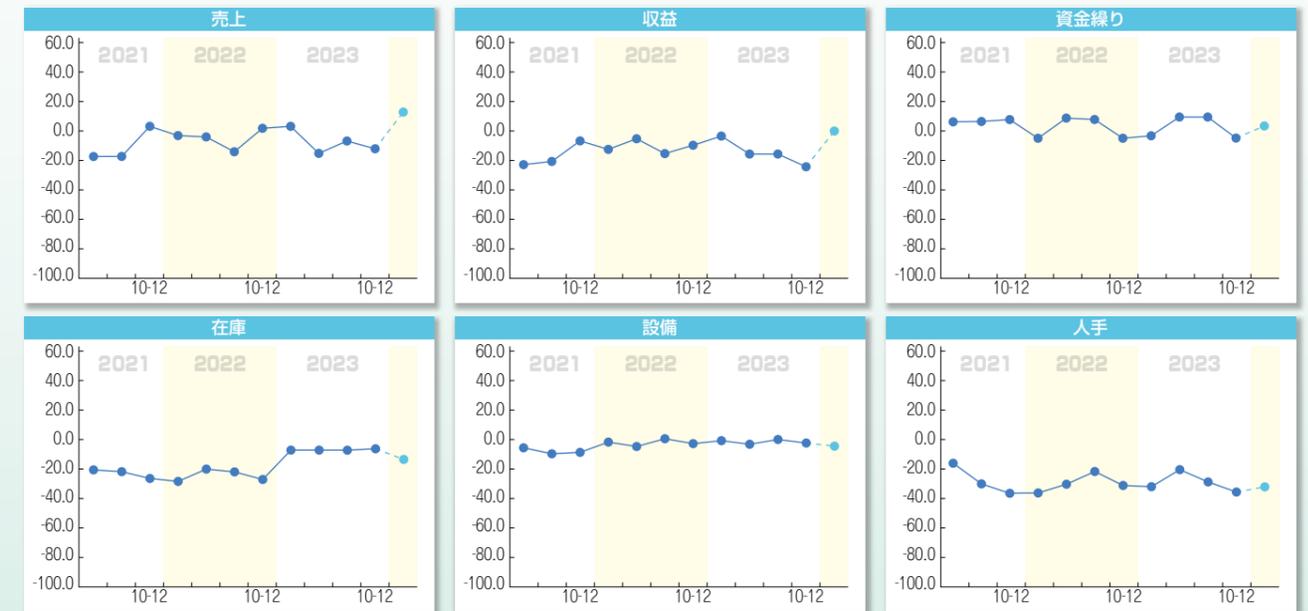
建設・不動産業 回答数70社

今期の業況D-IIは、前期比8.7ポイント低下の▲12.9となり悪化。資材価格や人件費など、各種コストの高騰が続いており、売上、収益ともに悪化。来期の予想業況D-IIは14.3ポイント上昇の1.4と改善の見通し。年度末に向けて工事の受注が増加しているとの声もあり、売上の増加を見込む企業が多い。

前期実績 今期実績 来期見通し



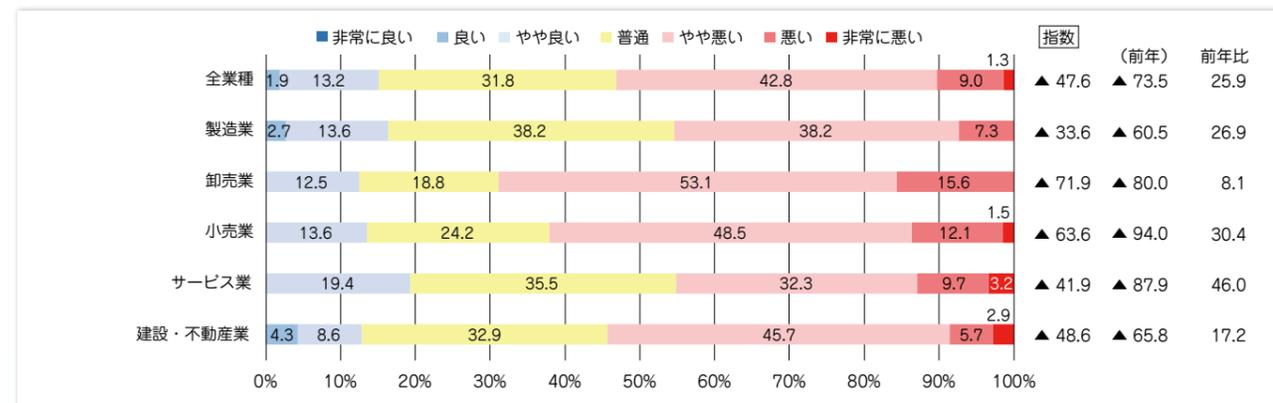
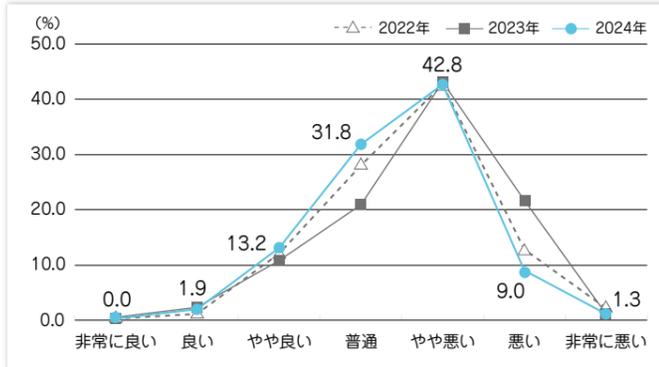
主要D-Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



- 仕入価格や人件費高騰により、業況は厳しい。(土木建築)
- 外注費の値上がりにより、利益に影響が出ている。(住宅建築)
- 原材料価格高騰に伴い、販売価格の引き上げを進めている。また、自社HPのリニューアルやSNS活用などにより、宣伝を強化している。(住宅販売)
- 賃貸の駐車場や事務所は、物価高の影響を特に受けなため、業況は安定している。(不動産仲介)

1 日本の景気見通し

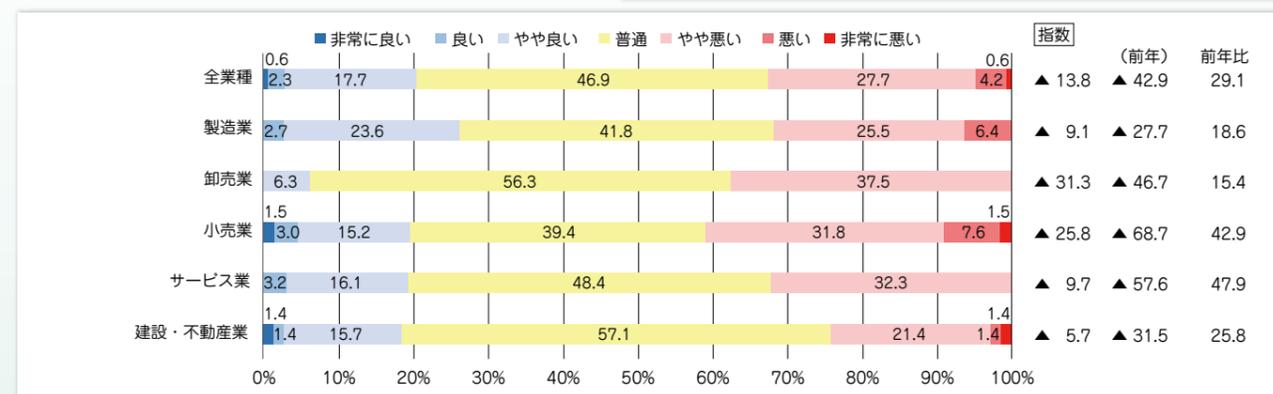
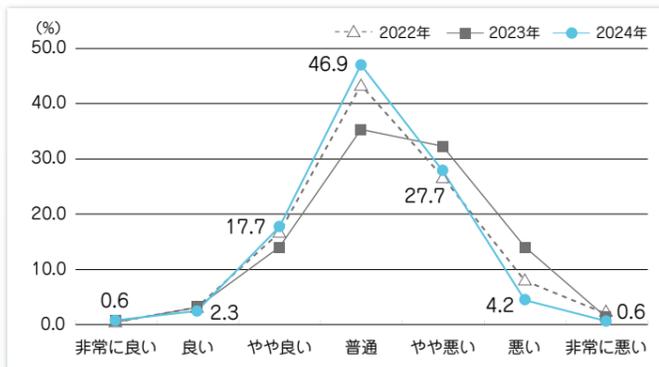
2024年の日本の景気見通しについては、「やや悪い」が最も多く、次いで「普通」、「やや良い」が続いた。昨年と比較すると、「悪い」が減少し、「普通」、「やや良い」が増加した。業種別では、製造業とサービス業は「普通」、「やや良い」、「良い」、「非常に良い」の合計が5割を超えている。独自に算出した指数は、すべての業種で昨年より改善しており、特にサービス業が大幅に改善。とはいえすべての業種で依然マイナスとなっており、先行きに対し厳しい見方の企業が多いことがうかがえる。



注) 指数の算出方法: (非常に良い×3) + (良い×2) + (やや良い×1) - (やや悪い×1) - (悪い×2) - (非常に悪い×3)

2 個別企業の業況見通し

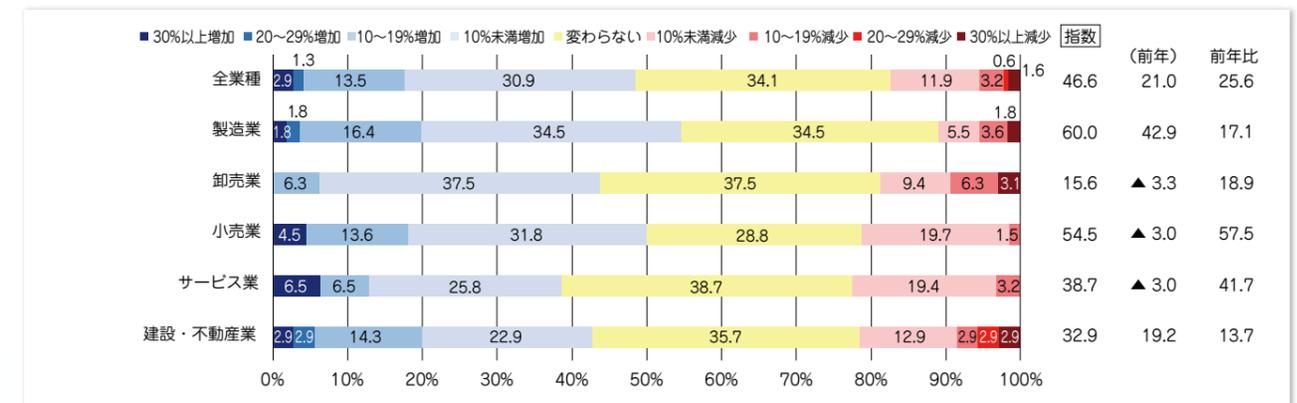
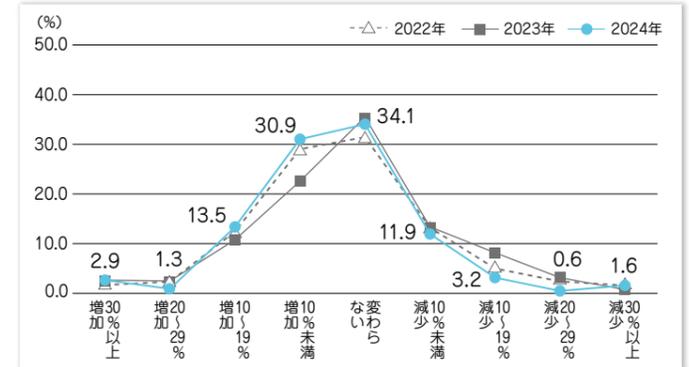
2024年の個別企業の業況見通しについては、「普通」が最も多く、次いで「やや悪い」、「やや良い」が続いた。昨年と比較すると、「悪い」、「やや悪い」との回答が減少し、「普通」、「やや良い」との回答が増加した。業種別にみても、すべての業種で最も多い回答は「普通」で、次いで「やや悪い」「やや良い」と続く。独自に算出した指数は、すべての業種で昨年より改善。特にサービス業と小売業が大幅に改善した。全業種で依然マイナス水準が続くが、日本の景気見通しほど、弱気の見通しではない。



注) 指数の算出方法: (非常に良い×3) + (良い×2) + (やや良い×1) - (やや悪い×1) - (悪い×2) - (非常に悪い×3)

3 売上額の伸び率見通し

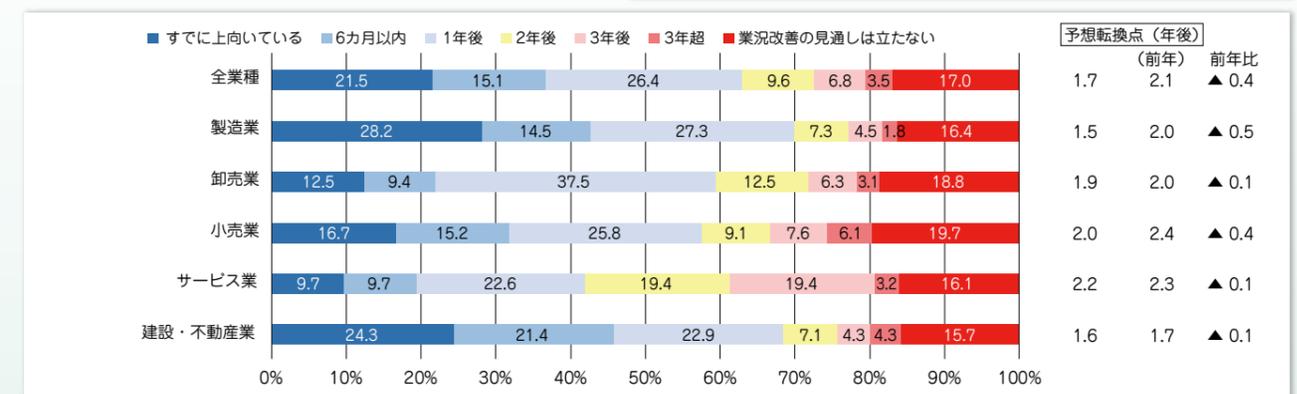
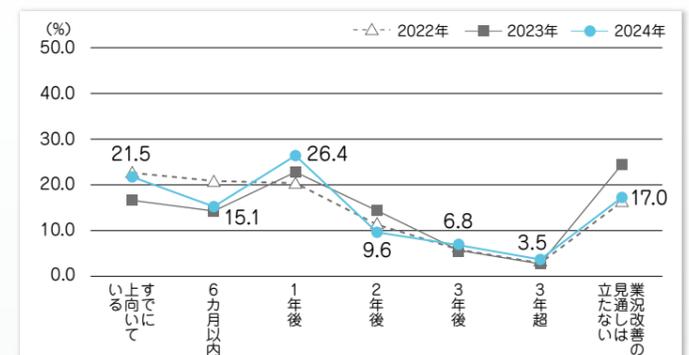
売上額の伸び率の見通しについては、「変わらない」が34.1%と最も多いが、増加する見通しとの回答の合計は昨年より増加し、48.6%となった。売上額の増加を見込んでいる企業が多いことがうかがえる。業種別では、半数を超える製造業者は、売上額の増加を見込んでいる。独自に算出した指数は、すべての業種で改善し、プラスとなっている。



注) 指数の算出方法: (30%以上増加×4) + (20~29%増加×3) + (10~19%増加×2) + (10%未満増加×1) - (10%未満減少×1) - (10~19%減少×2) - (20~29%減少×3) - (30%以上減少×4)

4 業況が上向く転換点

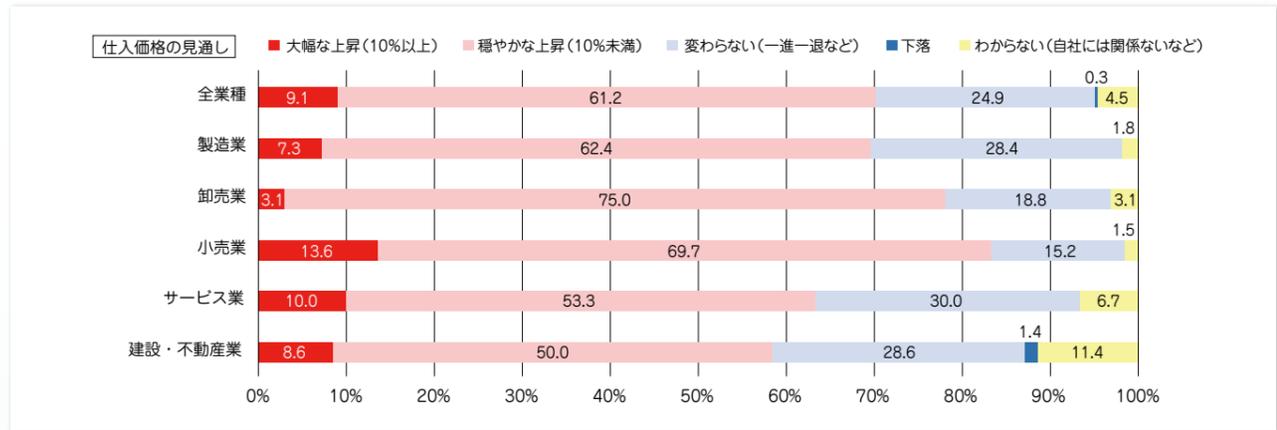
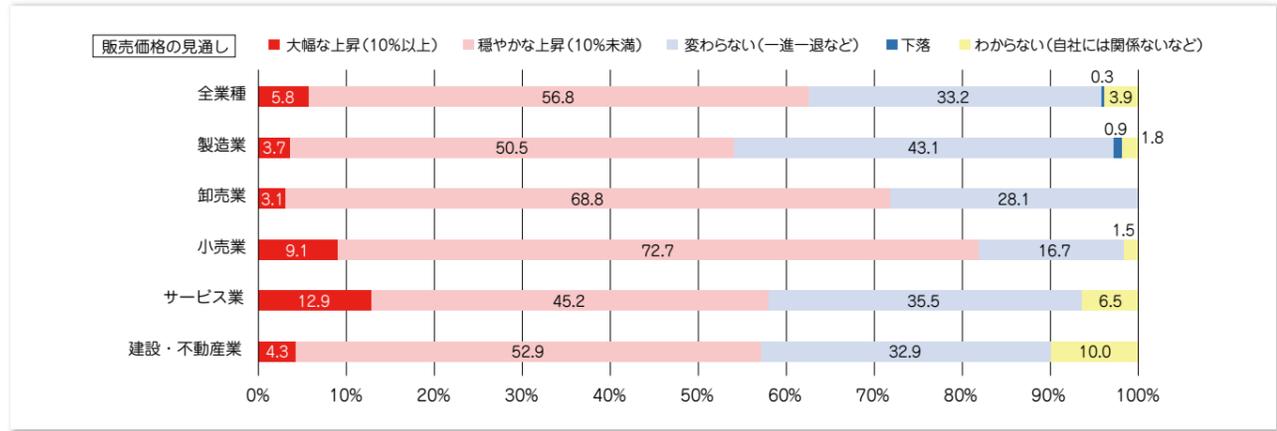
自社の業況が上向く転換点については、「1年後」が最も多く、次いで「すでに上向いている」が続いており、6割以上の企業が1年以内に業況が上向くと考えている。一方で「業況改善の見通しは立たない」との回答も依然として多い。独自に予想転換点を算出したところ、全業種の予想転換点は1.7年後で、昨年より0.4年早くなった。業種別では、製造業が1.5年後と最も早い。一方で最も遅かったのはサービス業で2.2年後。



注) 予想転換点の算出方法: (すでに上向いている×0) + (6カ月以内×0.5) + (1年後×1) + (2年後×2) + (3年後×3) + (3年超×4) + (業況改善の見通しは立たない×5)

5 販売価格・仕入価格の見通し

2024年の販売価格・仕入価格の動向をどのように見通しているか尋ねた。販売価格・仕入価格ともに、すべての業種で「緩やかな上昇(10%未満)」との回答が最も多く、「変わらない(一進一退など)」が続く。販売価格は6割以上、仕入価格は7割以上の企業が上昇の見通しと回答。特に小売業は販売価格・仕入価格ともに8割以上の企業が上昇を見込んでいる。多くの企業が仕入価格上昇が当面続くものと見ており、それに伴い販売価格への転嫁を進めていくことを見込んでいることがうかがえる。



<調査概要> 対象企業 当金庫取引先企業 311社
 調査期間 2023年12月1日～7日
 調査方法 当金庫担当者訪問によるWEBアンケート形式
 (四半期ごとに実施する「へきしん取引先景況調査」の特別調査として実施)

Topics

～へきしんは スタートアップ・ベンチャー企業を応援します～

国内最大のインキュベーション施設「STATION Ai」 2024年10月 名古屋市鶴舞公園南側に開業予定!



完成イメージ(北側外観)

「STATION Ai」とは

2024年10月に名古屋市鶴舞公園南側に開業予定の国内最大のインキュベーション施設です。スタートアップの創出・育成やオープンイノベーションを促進するために、国内外のスタートアップ支援機関・大学との連携等を通じて、様々な支援サービスを提供する予定です。愛知県が策定している「Aichi-Startup戦略」の一環として、STATION Aiの整備・運営事業をSTATION Ai株式会社が受託しています。

STATION Ai
ホームページは
こちら



なお、当金庫は、愛知県が主導して立ち上げた「Aichi-Startup推進ネットワーク会議」の会員です。 <https://stationai.co.jp>

<2023年度> 当金庫の活動内容

- ◎ STATION Ai Central Japan 1号ファンドへ出資
- ◎ 5月「中部まるごとスタートアップまつり」を開催(当金庫と三菱UFJ銀行、名古屋銀行の3行庫で共催)
- ◎ 10月「スタートアップ企業が伝授!!(製造業向け)新規事業創出セミナー」を開催(当金庫主催 愛知県後援 スタートアップ企業によるワークショップ)



中部まるごとスタートアップまつり



スタートアップ企業が伝授!!(製造業向け)新規事業創出セミナー

へきしんの活動方針

テーマは「中小企業とスタートアップ企業との共創」。既存事業に課題を持つ当金庫取引先とスタートアップとのマッチングを行い、共創を目指します。

詳しい内容につきましては、へきしんフリーダイヤルにお問い合わせください。
 ☎0120-115-004 平日9時～17時(12月31日～1月3日を除く)

地域の“今”と“これから”

徳川家康公のルーツ 松平氏発祥のまち 豊田市



写真：松平東照宮(提供：一般社団法人ツーリズムとよた)

昨年大河ドラマで脚光を浴びた徳川家康公。生誕の地である岡崎市をはじめとして、愛知県にはゆかりの場所が数多くありますが、豊田市は徳川家康公の祖先である松平氏発祥の地として知られています。また、松平氏の始祖・松平親氏や、ドラマにも登場した徳川十六神将の渡辺守綱、豊田市長郷町の出身で徳川四天王の榊原康政など数々の名将を輩出しています。松平氏発祥の地“松平郷”やゆかりの史跡などを訪れてみませんか。

<表紙の写真> (提供：一般社団法人ツーリズムとよた)

2005年に周辺6町村(西加茂郡藤岡町・小原村、東加茂郡足助町・下山村・旭町・稲武町)を編入合併し、現在の豊田市となりました。この合併により、豊田市は県内第1位の面積を占めています。山間部・丘陵部・平野部で構成された変化に富んだ地形で、各地には四季折々多くの見どころがあります。



愛知県安城市御幸本町15番1号
(vol.61 2024年1月発行)